

日本脳炎予防接種の説明書

<p>日本脳炎とは</p>	<p>日本脳炎ウイルスの感染によっておこる中枢神経（脳や脊髄など）の病気です。人から人への感染はなく、ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖した後、そのブタを刺したコガタアカイエカ（水田等に発生する蚊の一種）などが人を刺すことによって感染します。</p> <p>7～10日間の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん等の中枢神経系障害（脳の障害）を生じます、大多数の方は無症状に終わりますが、脳炎を発症した場合、20～40%が死亡に至る病気といわれています。</p>
<p>接種対象年齢 接種回数・間隔</p>	<p>【1期】生後6か月以上7歳6か月未満（※標準的な接種年齢は3歳以上4歳未満） （初回接種）6日以上28日までの間隔をあけて2回。 （追加接種）初回（2回）終了後、6か月以上（標準的にはおおむね1年以上）あけて1回。 【2期】9歳以上13歳未満に1回</p>
<p>ワクチンの副反応</p>	<p>○注射部位の症状（赤み、硬結、腫れ、痛みなど）、発熱（37.5℃以上）などがみられます。</p> <p>○極めてまれに、ショック、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、脳炎・脳症、けいれん、血小板減少性紫斑病等が報告されています。</p> <p>.....</p> <p>予防接種を受けたあと、副反応が起こった場合は医師の診察・治療を必ず受けてください。</p>
<p>受けることができない人</p>	<p>○明らかに発熱のある人（37.5℃以上の場合）</p> <p>○重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人</p> <p>○その日受ける予防接種に含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人</p> <p>○医師が不相当と判断した人</p>
<p>予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人</p>	<p>○心臓病、肝臓病、腎臓病、血液の病気などの治療を受けている人</p> <p>○以前に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発しん、じんましんなどアレルギーを思わす異常がみられた人</p> <p>○今までにけいれんを起こしたことがある人</p> <p>○過去に免疫不全の診断がなされた人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人</p> <p>○予防接種に含まれる成分にアレルギーがある人</p> <p>○発育で経過観察といわれている人</p>
<p>ワクチン接種後の注意</p>	<p>○接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこる可能性がありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。</p> <p>○接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。</p> <p>○接種後当日は過度な運動を控え、1週間は体調の変化に注意しましょう。</p> <p>○接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、接種部位を強くこすることはやめましょう。</p> <p>○接種後、腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは医師にご相談ください。</p> <p>○このワクチンとほかのワクチンの同時接種を希望する場合は、医師にご相談ください。</p>